

## ⑫ 公開特許公報 (A) 平4-144150

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>H 01 L 21/66  
G 01 R 31/26  
H 01 L 21/68

識別記号

G 7013-4M  
Z 8411-2G  
N 8624-4M

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)5月18日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑭ 発明の名称 カセットハンドリング装置

⑮ 特 願 平2-266503

⑯ 出 願 平2(1990)10月5日

⑰ 発明者 河津 隆治 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内  
 ⑰ 発明者 佐野 芳明 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内  
 ⑰ 出願人 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号  
 ⑰ 代理人 弁理士 清水 守 外2名

## 明細書

## (従来の技術)

従来、このような分野の技術としては、例えば以下に示すようなものがあった。

第2図及び第3図は従来の収納キャリアとそのハンドリング状態を示す図である。

従来、半導体装置等を製造する際、基板の収納には、第2図(b)や第3図(b)に示すように、キャリア(カセット)3や7が多く使われている。また、それらをハンドリングするには、保合爪2を有するハンドル1や把持アーム6を有するハンドル5が用いられている。

これらのハンドルはあくまでも収納キャリアを横置きとして処理するタイプであり、基板の洗浄等、液中にての処理には効果があった。ここで、これらのキャリアはハンドルを用いるということからも理解できるように、塵埃をきらうことから、素手或いは手袋をしてもキャリア類には触れてはならない。

## (発明が解決しようとする課題)

しかしながら、上記したハンドルはカセットを

## 1. 発明の名称

カセットハンドリング装置

## 2. 特許請求の範囲

## (1)

(a) 二股状のアームの内部に対向して形成される抜け防止用ストッパーを有するハンドルを設け、

(b) 前記二股状のアームが基板を収納するカセットのオーバーハングの部分を囲い込む形で保持することを特徴とするカセットハンドリング装置。

(2) 請求項1記載の前記カセットに四部を形成し、前記ストッパーが該カセットの四部に係止され、位置決めされることを特徴とするカセットハンドリング装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本発明は、半導体装置等の製造用の基板を収納するカセットを保持するカセットハンドリング装置に関するものである。

つかむ方法が簡単ではない。収納キャリアに、例えば、半導体ウエハ等のような割れやすい基板を収納してある場合、いずれのハンドルによっても、収納キャリアへの引っ掛けが不十分であり、基板を割ってしまうケースが多くある。このように従来のハンドリングには難があった。

一方、最近の半導体装置を製造している自動化対応装置は、基板一枚一枚搬送処理するため、収納キャリアを経に置くようになってきているが、その場合、従来のハンドルは、横置きキャリア専用であり、これらの装置類には使用できないという問題点があった。

本発明は、以上述べた問題点を除去するため、ワンタッチ方式でカセットを保持し、かつ、触手することなく、縦、横自在にカセットを自動装置に装着できる簡便なカセットハンドリング装置を提供することを目的とする。

#### (課題を解決するための手段)

本発明は、上記目的を達成するために、カセットハンドリング装置において、二股状のアームの

内部に対向して形成される抜け防止用ストッパーを有するハンドルを設け、該ハンドルの二股状のアームが基板を収納するカセットのオーバーハングの部分を囲い込む形で係合するようにしたものである。

#### (作用)

本発明によれば、二股状のアームの内部に対向して形成される抜け防止用ストッパーを有するハンドルを設け、該ハンドルの二股状のアームが基板を収納するカセットのオーバーハングの部分を囲い込む形で係合させる。

従って、カセットの両端上部をスライドして保持できる囲い込み機構を具備し、かつ、抜け防止機構を有しているので、ワンタッチ方式にして簡単なハンドリングを行なうことができる。

#### (実施例)

以下、本発明の実施例について図面を参照しながら詳細に説明する。

第1図は本発明の実施例を示すカセットハンドリング装置の斜視図である。

この図において、11はカセットハンドルの本体であり、12はその本体11の二股状の保止アーム、13はその保止アーム12の内側に対向して形成される溝、14はその保止アーム12の溝13の先端部に形成されるカセットの抜け防止用のテープ付きストッパー、15はその二股状の保止アームの基部から延びる柄、16はその柄15の先端部に形成される、保管時に壁のフック(図示なし)に掛けるためのフック穴である。

一方、21はウエハカセット、22はそのウエハカセット21の上端部に形成されるオーバーハング部、23はそのオーバーハング部22に形成される凹部である。

この図に示すように、このカセットハンドルの保止アーム12の溝13は、ウエハカセット21の上端部のオーバーハング部22を囲い込むようにスライドさせ、そのオーバーハング部22に形成される凹部23に、テープ付きストッパー14を係合させて、カセットハンドルからウエハカセット21が抜けるのを防止するようにしている。

第4図は本発明の実施例を示すカセットハンドルの第1の変形例を示す斜視図である。

この変形例においては、第4図に示すように、ストッパー部の構造が異なっている。

この図において、31はカセットハンドルの本体であり、32はその本体31の二股状の保止アーム、33はその保止アーム32の内側に対向して形成される溝、34はその保止アーム32の溝33の先端部に形成されるカセットの抜け防止用のテープ付きストッパー、35は保止アーム32の上部に形成される抜け防止用のテープ付きストッパー、36はその二股状の保止アーム32の基部から延びる柄、37はその柄36の先端部に形成される、保管時に用いるフック穴である。

第4図に示すように、保止アーム32の先端部の上部及び下部には抜け防止用のストッパー35、34を設けるようにしたので、下部のストッパー34は、上部と同様であるが、上部のストッパー35はカセットのオーバーハング部にスライドせずに単にカセットの保止部に係合させることにより、ハンドリン

グできる。

第5図は本発明の実施例を示すカセットハンドルの第2の変形例を示す斜視図である。

この図において、41はカセットハンドルの本体であり、42はその本体31の二股状の保止アーム、43はその保止アーム42の内側に対向して形成される段部、44はその保止アーム42の段部43の先端部に形成されるカセットの抜け防止用のテープ付きストッパー、45は保止アーム32の斜め上部に形成される抜け防止用の横方向に突出する凸部、46はその二股状の保止アーム32の基部から延びる柄、47はその柄46の先端部に形成される、保管時に用いるフック穴である。

第5図に示すように、テープ付きストッパー44により、スムーズにカセットに対してスライドさせることができ、しかもカセットの四部に対しては、正確な位置決めを行うことができる。

このように構成することにより、オーバーハング部と、それに四部を有するカセットに基板を収納して、保持具をオーバーハング部にスライドさ

ることにより、カセットを簡単に移動させることができた。また、そのままカセットを縦型処理装置に載せ、ハンドルを抜くことができ、縦型処理装置にも十分通用させることができる。

また、このハンドリング装置は、ハンドルの内側でカセットのオーバーハング部を係合保持することができ、ハンドルの保管は、内側がクリーンに保護されるため、保管方法には特に制限がない。この点、従来のハンドルはカセットキャリアをつかむところが露出するようになっており、保管に難点がある。

また、本発明のハンドルはカセットと共に高精度で加工することができ、カセットの四部とハンドルの抜け防止用ストッパー14との位置が合致するように設計されているため、即ち、第1図に示すように、保止アーム12の長さ $L_1$ とカセット21の保持される側から四部23の先端部までの長さ $L_2$ が同寸法であり、かつストッパー14の幅 $L_3$ と四部23の幅 $L_4$ とののが略等しくなるように加工する。

なお、本発明は上記実施例に限定されるもので

はなく、本発明の趣旨に基づいて種々の変形が可能であり、これらを本発明の範囲から除外するものではない。

#### (発明の効果)

以上、詳細に説明したように、本発明によれば、カセットの持ち運び、いわゆるハンドリングが容易となり、しかもカセットを横のみならず縦にも自由にハンドリングすることができ、作業性の向上を図ることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

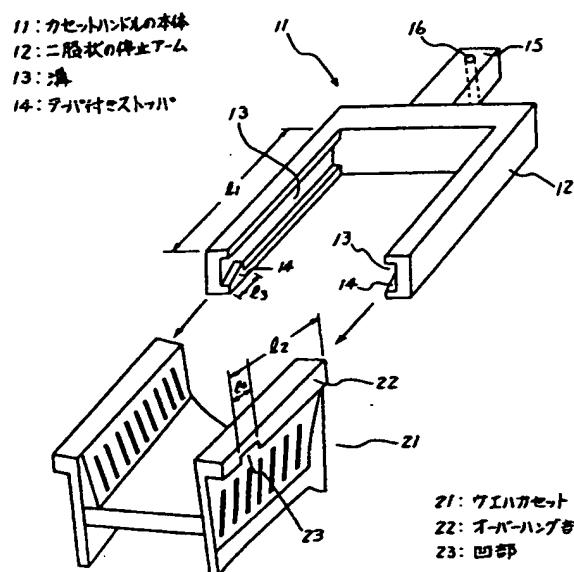
第1図は本発明の実施例を示すカセットハンドリング装置の斜視図、第2図及び第3図は従来の収納キャリアとそのハンドリング状態を示す図、第4図は本発明の実施例を示すカセットハンドルの第1の変形例を示す斜視図、第5図は本発明の実施例を示すカセットハンドルの第2の変形例を示す斜視図である。

11. 31. 41…カセットハンドルの本体、12. 32. 42…二股状の保止アーム、13. 33…溝、14. 34. 35. 44…テープ付きストッパー、15. 36. 46…柄、

16. 37. 47…フック穴、21…ウエハカセット、22…オーバーハング部、23…四部、43…段部、45…凸部。

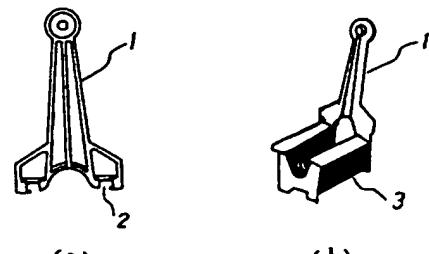
特許出願人 沖電気工業株式会社

代理人 弁理士 清水 守(外2名)



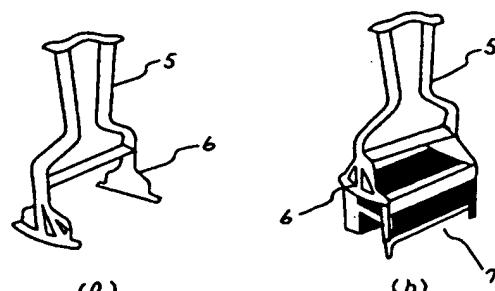
本発明のカセットハンドリング装置の斜視図

第1図



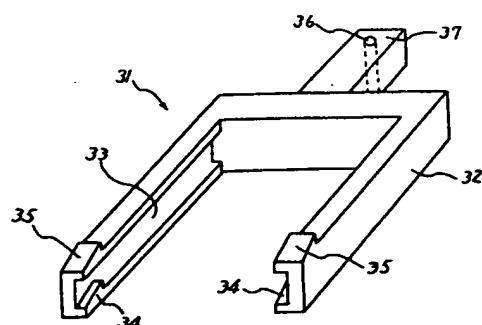
従来の第1の収納キャリアとそのハンドリング状態を示す図

第2図



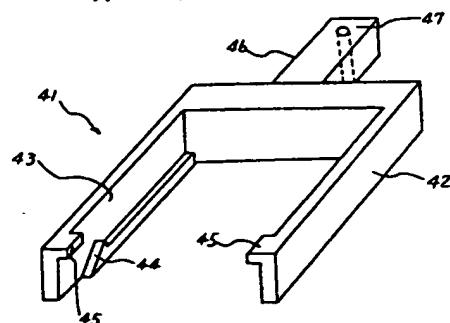
従来の第2の収納キャリアとそのハンドリング状態を示す図

第3図



本発明の第1の変形例を示す斜視図

第4図



本発明の第2の変形例を示す斜視図

第5図